

2024年あじさいまつり俳句優秀作品

芝 喜久子 選

特選

潦の残る紫陽花日和かな

府中市 石田 充子

評 雨を詠まずに紫陽花日和を捉えました。雨の後の園内の瑞々しい紫

陽花が浮かび上がります。

紫陽花や青の絵具を雨で溶き

府中市 西ノ宮 武

評 パレットに降り掛かる雨で溶いた青は、まさしく紫陽花の青。

あじさいや鉦一つで開く傘

府中市 保坂 俱孝

評 紫陽花の繙を楽しむ人彼の小径で、便利な傘の再確認。「鉦一つ」の

発見が効いています。

四葩咲きふるさとの母懐かしむ

八王子市 加藤 由浩

評 四葩が大好きなお母上なのですね、咲きだすとふるさとの母親を思

いだします。四葩に感じる郷愁。

アナベルの丘に煌めくシャボン玉

府中市 浅田 章

評 見事なアナベルの白に季語のシャボン玉が際立ちます。子等の興ず

る姿も見え、まるで一枚の絵。

佳作

紫陽花の小径に歌う園児帽

さいたま市 野々山 睦

あぢさるやおのづとゆるむ足運び

日高市 佐藤 隆夫

紫陽花の繙に名残りの一雫

府中市 加藤 政美

あぢさるの小径に白杖すれ違ふ

府中市 山田 節子

手を繋ぎ四葩の余韻持ち帰る

府中市 福江 洽一

あぢさるの小径の端に再会す

品川区 澤 由紀江

肩に触れくるあぢさるの繙重し

府中市 志田 礼子

紫陽花の藍津々とはけの道

府中市 山田 幸子

肩ふれて子等一列の田植かな

府中市 小室 清恵

見守るは忍耐に似て額の花

府中市 島崎 栄子